

日本の教育を取り戻す

比較検証・スイスと日本

平和をいかに守るのか

中村学園大学教授
占部賢志

子供たちを取り巻く環境に大きなひずみが生じている。いま教育の現場で何が起きているのか。最前線に立つ教師は何をなすべきなのか。一教師の立場を貫き、真正面から教育に取り組んでこられた占部賢志氏に、教育界の現状をもとに教育再建の道を探っていただく。

うらへけんしー昭和25年福岡県生まれ。九州大学大学院博士課程修了。高校教諭を経て、現在、中村学園大学教授。傍ら、NPO法人アジア太平洋子ども会議・イン福岡「日本のことも大使育成塾」塾長などを務める。著書に「語り継ぎたい美しい日本人の物語」「子供に読み聞かせたい日本人の物語」(ともに致知出版社)などがある。

狼狽する現場

占部 自治体によってはJアラートから情報が発信されても、住民への緊急連絡システムが作動しなかったり誤作動を起こしたりしているでしょう。

占部 そもそも、Jアラートとは政府の全国瞬時警報システムのことです。北朝鮮から発射された弾道ミサイルが日本に飛来する可能性があるかと判断したら、政府はJアラートで緊急情報を伝達する。すると、市町村の防災行政無線が自動的に

学校現場の混乱

教師A 前回、平和教育の問題点についてお話を伺いましたが、その後、北朝鮮は日本列島を越えて太平洋に着弾する弾道ミサイルを立て続けに発射。さらには憂慮されていた核実験までも断行しました。教育現場でも動揺が走ったと報じられています。

教師B 八月二十九日のとき、公立学校では北海道と東北地方で小

学校一校と高校三校が休校し、登校時間を遅らせるなどの措置をとった学校は四十校以上にのぼったそうです。

PTA役員 この場合、その措置を決定するのはどこなんですか。

占部 各学校の校長の判断です。

教師B 私立高校の中には、Jアラートが流れなかった地域から通学した生徒もいて、休校になったのを知らずに登校したケースがあったらしいですね。

PTA役員 防災マニュアルのよ

起動して屋外スピーカーから警報が流れるほか、携帯電話にエリアメール・緊急速報メールが配信されることになっているのです。

にもかかわらず、ミサイルが日本列島上空を通過して太平洋上に着弾したあとに警報が流れるというお粗末さも見られました。ほとんど人為的ミスですね。

教師C 八月二十九日のときは、二十四市町村で機器の不具合などのトラブルが起きたそうです。近年は批判を受けて点検や訓練をやっていたはずなんですけどね。

占部 でもね、彼らだけを非難しても仕方ない。だって、我が国は国家の安全保障の多くを米国にゆだねてきたのですから、政治家も行政関係者も、そして我々国民もどうしているのか分からないのです。恐いのは、ミサイルよりもこの間の抜けた混乱ぶりを世界にさらしてしまっただけです。

教師C システムが作動した地域でも、むしろ住民の困惑と不安は増したようです。新聞報道によれば、「地下シェルターがあればいいけど、備えがなく怖い」とか、「具体的にどこに逃げればいいのか、どこが安全なのか分からない。近

くに避難場所があるとはかぎらないし、あっても間に合わないかもしれない」などの声があちこちで聞かれたと言います。

教師A これは六月のことですが、滋賀県ではミサイル飛来時の対応を保護者へ周知するよう、県教委が各自治体の教育委員会へ通知したところ、「現場の不安をあおる」などと反発して拒否した自治体もあったようです。

占部 たしか自治体の中には、「戦争をあおる」と県の通知を非難する声もあったらしいですね。では、管轄下の住民や子供たちの安全をどのようにして確保するのか、対策は出てこない。

おそらくは、そういう自治体の学校では前回厳しく指摘したゆがんだ「平和教育」の方は、相変わらず熱心にやっているのではないのでしょうか。まあ、こうした現状も我々が負わざるを得ない戦後日本のツケですよ。ただ私は、悲観も楽観もしません。

スイス『民間防衛』に見るリアリズム

PTA役員 北朝鮮問題は今後さらに深刻になるでしょうから、少

しずつでも国民の安全を守る国づくり、地域づくりに努めるべきですね。そのためには、何が急務でしょうか。

占部 当欄でも紹介したことがある、スイス政府編集の『民間防衛』を各家庭に一冊そろえてお読みになることを推奨します。高校の授業でも現代史を扱うときには、必ず紹介していました。

私は、複雑な国際関係を読み解く際は、こうであってほしいという期待や希望、あるいは好き嫌いなどの感情で見えてはいけないということを徹底して教えてきました。が、この本に書かれていた世界観はリアリズムに徹しています。

とにかく、核攻撃も含めて武力攻撃から災害に至るあらゆる危機に、スイス国民はいかに対処すれば安全が確保できるか、その心構えと具体的なサバイバルの技法が詳細に網羅されているのです。

教師B 以

あらゆる危険から身を守る

民間防衛

スイス政府編

+

相次ぐ震災、テロ、戦争、海外旅行、総ての危機に備える

スイスに学ぶ……外添要一氏推薦

想定されるすべての局面と状況に対応できる世界最高の生き残るための

完全マニュアル

『民間防衛—あらゆる危険から身を守る』(原書房)

酸性の米から弱アルカリ性のピロール米に変えませんか!

人体は元素で構成されているが、中でも特にカルシウムは骨や歯に蓄えながら、常に血液を弱アルカリ性に保つ重要な役割を担っている。二本謙三博士は「酸性食品を食べる事によって血液のアルカリ度が不足すれば、アルカリを体内から補充しなければならないが、アルカリ度が足りていれば体内に蓄積される」と言われている。酸性の肉を食べても血液が酸性に傾かないのは、骨や歯を溶かしてアルカリ元素のカルシウムを補充する為だ。海外の骨粗鬆症の診療ガイドライン「骨粗鬆症、診断・予防・治療」では、砂糖や動物性食品はカルシウムを奪う骨泥棒とされており骨粗鬆症の予防の為にアルカリ性食品を摂取するよう言及している。超高齢者の多い地域は、カルシウムの多い土地である、という事が共通している。カルシウムの多い硬水を飲み、カルシウムの多い作物を食べている。日本は火山地帯の為に、カルシウムの少ない土地であり、カルシウムの少ない軟水だ。野菜にもカルシウムが少なく、米は酸性だ。食性から白歯の割合(62.5%)

を考えれば、米のpHの違いは、毎日食べる主食であるだけに大変に大きな差となってくる。玄米・菜食で酸性の肉・魚を排除しても、米が酸性であれば、食事全体では酸性になる。同じように玄米菜食を実行しても、欧米と日本での結果の現れ方が違うのは元素の含有率の違いであり、特にカルシウムの含有率には大きな違いがある。
◆ピロール米は、Ca・Mgを多く含んだ弱アルカリ性の米です。(B12を含有する)※30年以上のデータがあります。
◆ピロール米は、【全国米・食味分析鑑定コンクール・国際大会】で最高位のダイヤモンド褒章を受章しています。
◎土壌中に眠る藍藻を増殖させる事によって、Ca・Mg・亜鉛などを20~30%多く吸収した健康な作物に育ちます。玄米菜食を実践しても、米が酸性なら食事全体では酸性になるが、米がアルカリ性になるだけで食事全体ではアルカリ性になってしまう。⇒弱アルカリ性ピロール米は、健康に関心のある人達から、非常に注目されています!
◆どの専門書にも「米は酸性」としか書かれていません。

脳幹トレーニングは、免疫力回復の為の訓練です!

玄米食を実行しても、健康食品を飲んでも、癌が治る人と癌で死ぬ人がいる。⇒その違いは、脳幹にある。脳幹の事を、一般的には自然治癒力とか、免疫力と呼んでいるが、脳幹が正常に機能していれば、脳幹が病気を防いでくれる。脳幹は系統発生的に、最も古い脳であり、心臓を中心とした血液循環、血圧・体温・血糖・水分調節、呼吸、嚥下といった「生命活動の基本」を司る中枢で、「神経の伝導路」である。※自律神経など、全ての神経をコントロールする免疫力の司令塔である。東洋医学では針・指圧・刺絡療法など、ツボを刺激する事で自律神経を調節して、免疫力を上げる治療が行われているが、これは脳幹への刺激である。笑い療法・心肺停止の人に行うAEDなど、刺激の強弱が違うが、脳幹への刺激を行っている。人間は動物である。動物は、動く物と書かれるように、体を動かす事で脳幹が機能する仕組みになっている。だから人間という動物が、動かない生活を続けると、徐々に脳幹が機能しなくなり、病気を防ぐ事ができなくなる。これが動物の宿命なのだ。
●低体温・無表情・無感動・自律神経の失調等…これらは脳幹が弱った結果である。体に大きな問題はないが、感情表現が乏しく、活き活きとした表情の明るさ、瞳に輝きがない。姿勢が悪い。●アレルギーは、食物が根本的な原因ではない。脳幹が弱っている為、良い物を食べたのか悪い

物を食べたのか、正しい判断ができなくなっているのだ。その証拠に、脳幹が鍛えられると、アレルギー症状が起きなくなってくる。●癌は、生活習慣病と言われている。生活習慣病は、生活習慣の中に原因があつて起きた病気だ。もっと具体的に言えば、人間と呼ばれる動物が、体を動かさない生活習慣を続けた結果、起きた病気であるという事だ。だから癌細胞も、脳幹が鍛えられて正常に働くようになれば、アポトーシスを引き起こして自滅するようになる。⇒天然ゴム製【オカヤマ脳幹クッション】は、家庭の中で簡単に脳幹を鍛える事ができるように開発された物です。



「オカヤマ脳幹クッション」
天然ゴム製、国内生産品
●サイズ 45cm×50cm ●重さ 2kg

株式会社 オカヤマ / 脳幹トレーニング研究所 岡山県 苫田郡鏡野町竹田1110-1 定休日 / 土・日・祝日
TEL 0868-54-3161 FAX 0868-54-4004 http://www.horebore.cleans.jp/

- 『ピロール農法』及び、健康情報誌『昔話に学ぶ健康法』を希望全員に無料進呈中!
- 祝日に日の丸の国旗を印刷しているカレンダーを希望者全員に無料進呈中!

日本の教育を取り戻す

「最小限度言い得ることは、世界がわれわれの望むようには少しもうまく行っていない、ということである。危機は潜在している。恐怖の上に保たれている均衡は、十分に安全を保障してはいない。それに向かって進んでいると示してくれるものはない。こうして出てくる結論は、我が国の安全保障は、われわれ軍民の国防努力いかんによって左右される」

いかがですか。永世中立を支えている基盤は、このような徹底したリアリズムなのです。「危機は潜在している」と説く、こうした世界観は、そのために何を留意しているのか、具体的な内容を一、二教えて頂けませんか。

占部 例えは、有事に備えて家庭で備蓄しておくものとして、家族一人につき米二キロ、麵類二キロ、砂糖二キロ、食用脂肪一キロ、食用油一リットル、ほかにスープ、ミルク、果物、肉、魚などの缶詰、石鹸や洗剤、冬の燃料などが挙げられています。情勢が悪化してからは遅すぎるといわけです。

また、スイスの核シェルターは有名で、一九七〇年代の後半、十万人を収容可能な核シェルターが工事中で話題をさらったことがあります。二百人から八百人程度を収容する一般シェルターなら公共の設備として至るところに設けられているそうです。

こうした現実を、スイスの『民間防衛』は目をそらさず正視してこのように述べています。重要ですからポイントをピックアップしておきます。

「深く考えてみると、今日のこの世界は、何人の安全も保障していない。戦争は数多く発生しているし、暴力行為はあとを断たない。われわれに危険がないと、あえて断言できる人がいるだろうか」

内部には医療設備、調理室や食堂、子供のための遊び場や通信施設なども用意され、万一貯水池に毒物を混入された場合は地下水をくみ上げて利用するために鑿岩機やコンプレッサーまで備えるという周到さです。

英国の民間防衛研究所が、第三次世界大戦が勃発しても生き残る国民はスイス人だけであろうと評価しているそうですが、うなずけますね。

占領下の教師の役割とは

PTA役員 いろんなことが書かれているのか、具体的な内容を一、二教えて頂けませんか。

占部 それから、本書には国民に対して危機に備える覚悟を要請する文言が随所に見られるのが特徴です。これは日本とまったく違う点で、こと安全保障に関してはオブラートに包んだような言い方はありません。例えばこんな記述です。

PTA役員 そこまで徹底した取り組みによって平和は維持されているんですね。

占部 それから、本書には国民に対して危機に備える覚悟を要請する文言が随所に見られるのが特徴です。これは日本とまったく違う点で、こと安全保障に関してはオブラートに包んだような言い方はありません。例えばこんな記述です。

「小学校から大学に至るまでの教師たちが、われわれの自由の理想と国民的な名誉に対して忠実であるならば、占領軍は絶対にその思想に手をつけられず、屈服させることはできないだろう。精神的な抵抗運動を誰よりもまず最初に引き受けて実行するのは、我が国の教育者たちである」

さすがですね。教師は占領軍のお先棒を担ぐのではなく、精神的な抵抗運動を引き受けなければならぬという言葉は、我が国の教師にとって頂門の一針でしょう。ぜひ一読を勧めます。

難をもたらしかねない」
教師B 世界は平和愛好国ばかりとか平和を唱えていれば安心だなどという依存型平和主義はみじんもありませんね。
教師C 教育に関して何かありませんか。
占部 そうですね。印象深いのは、仮に侵略軍に占領される事態になったとき、スイスの教師は何をすべきかが明記されているのですが、私は心を動かされました。